

取組名称	びっくりドンキーの生きものにも優しいお米～契約産地での生きもの調査実施率100%！～		団体設立後の経過年数	55年
応募取組主体名称	株式会社アレフ	活動地域	日本全国の生産地	28年 (生きもの調査開始から15年)
取組主体の種別	<input checked="" type="checkbox"/> 企業 / <input type="checkbox"/> 学校 / <input type="checkbox"/> NPO・任意団体 / <input type="checkbox"/> 自治体 / <input type="checkbox"/> 地域コミュニティ / <input type="checkbox"/> 個人 / <input type="checkbox"/> ユース部門 (概ね30代以下の次世代を担う若手を中心となって実施する取組はこちらにもチェックしてください) / <input type="checkbox"/> その他			
応募取組に関連する実行委員会特別賞	<input checked="" type="checkbox"/> サステナブルデザイン賞 / <input type="checkbox"/> 子どもエンパワーメント賞 / <input type="checkbox"/> 環境と福祉賞 / <input type="checkbox"/> 環境地域ブランディング賞 / <input type="checkbox"/> 環境ひとつづくり賞 / <input checked="" type="checkbox"/> 環境社会イノベーション賞 / <input checked="" type="checkbox"/> 地球と人への思いやり賞 / <input type="checkbox"/> SDGsビジネス賞 / <input type="checkbox"/> EXPO2025 いのち動的平衡賞			



取組の要旨	<p>ハンバーグレストラン「びっくりドンキー」で提供するお米は全量契約栽培を行い、農薬使用は除草剤1回以下で畔を含め殺虫剤の使用は禁止という独自の厳しい基準に加え、生産者ご自身の田んぼの「生きもの調査」を義務化しています。この調査を通して、カエルやトンボなどの水生の幼生が成体になるのを待つための水田の中干し延期や落差の大きな排水路と水田をつなぐ魚道設置などの生物多様性へ配慮した取り組みを契約産地で推進しています。</p>
実績の要旨	<p>2023年度、びっくりドンキー全店（直営・フランチャイズ）で使用するお米の契約産地において「田んぼの生きもの調査」実施率100%を達成しました。契約生産者は全国17生産団体、約420軒で、水田面積は約1,000haを超えます。取引量は精米重量換算年間約5,300トンで、お客様約2,650万人分におよぶものです。また水田とその周辺での生物多様性へ配慮した取り組みを自主的に行っている生産者は、現在約300軒（全生産者のおよそ6割）にのびります。</p>

取組評価の要旨	環境への貢献	契約水田での生きもの調査を実施、水田とその周辺での生物多様性へ配慮した取り組みは2,850カ所に及びます。（2023年12月現在）
	社会・経済への貢献	全てのびっくりドンキーで提供されている、利用するお客様約2,650万人分に及ぶ量のお米の仕入れに関連した取り組みです。
	地域資源の活用	契約産地やえこりん村内自社田でのイベント等、全国各地の水田をフィールドに、これまで延べ1万人以上に自然体験活動を提供しています。
	普及・汎用性	生産者が生きもの調査を実施する上での現実的な手法を開発、毎年産地訪問や生産者協議会での情報共有、技術指導を行っています。
	革新・ユニーク性	仕入れを担当するパイヤーの他に、生物多様性保全の推進担当者がおり、技術指導や活動を推進しています。
	継続性	お米の契約栽培は1990年代から、その中で生きもの調査は2010年から開始し、15年かけて全生産者での実施へ活動を拡大してまいりました。

展望の要旨	「田んぼの生きもの調査」継続、田んぼのシンボル生きもの設定義務化、「お米の環境保全活動の実績報告書」の提出をフランチャイズの産地にも拡大
-------	----------------------------------------------------------------------